

## 第1学年 社会科学習指導案

日 時：令和4年11月8日 5校時

学 級：八幡平市立安代中学校 1年A組

指導者：平野 大

支援員：津嶋 繁樹

### 1 単元名 第2編世界のさまざまな地域 第2章世界の諸地域 3節アフリカ州

### 2 単元の目標

- (1) アフリカ州について、植民地化の歴史や現状、他地域からの支援活動、州でみられる地球的課題を通して、地域的特色を大観し、理解する。 【知識及び技能】
- (2) アフリカ州の植民地化の歴史や豊かな資源と産業などの現状をもとに、アフリカ産業の地域的課題について、集めた資料等から読み取り、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 【思考力、判断力、表現力等】
- (3) アフリカ州について設定された主題の視点を通して、そこで見られるアフリカ産業の課題、モノカルチャー経済の抱える問題、資源の枯渇など地球的課題にも着目して考え、主体的に追究しようとする。 【学びに向かう力、人間性等】

### 3 単元について

#### (1) 生徒について

本単元であるアフリカ州は、生徒たちにとって「貧困」や「生活が大変な地域」といったイメージが強く、事前のアンケートでも経済的に豊かな地域であると回答した生徒は見られない。しかし、実際は経済的に発展している地域もあることから、既存のイメージの影響を大きく受けて捉えている様子が見られる。これは既習事項である世界の気候の分類の際に、アフリカ州を大観的にとらえさせたためであり、「サハラ砂漠＝乾燥帯」、さらには ICT を用いた、地域の画像の様子を学習したことから、このようなイメージが定着したものと思われる。

授業中の発言は活発で、社会の事象に対する興味・関心も高い。小学校からの既習内容もあり理解も早い。基礎・基本の定着に関して知識面で課題が見られた。同じく、思考力・判断力・表現力に関する取り組みが不十分と考えられるため、普段の授業の中で思考させたり判断させる場面を設定したり、発表させる場面を増やすなど作業的体験を伴う活動を通してこれらの資質を育てていきたい。

また、ICT を活用した授業が生徒たちも肯定的な影響を与えていると実感できており、生徒たちも ICT の活用に積極的なため、今後 ICT の利便性をいかした、互いに学びあう授業環境の構築を行っていく。但し、ICT の活用において授業の規律も確立できていない点があるため、情報モラルの指導と合わせて改善していく必要がある。

#### (2) 教材について

本教材は、「世界の諸地域」のまとまりの一つで、アフリカ州の地域的特色が自然及び社会的条件によって他の地域と異なること、また、歴史的背景や生活と宗教との関わり、産業の特色を理解することによって、アフリカ州が抱える諸問題を地域特有の一般的課題として捉え、地球的課題の要因や影響をも踏まえつつ関連付けて多面的・多角的に考察する中で、思考力・判断力・表現力を育成することを目的としている。アフリカ州は、かつて植民地支配を受けた歴史的背景があり、宗主国によって差別と搾取の歴史がある地域である。現在は、独立を果たすものの、資源の分布状況や生産力に格差が見られ、モノカルチャー経済が問題として挙げられるほど、国によ

って経済の豊かさが異なる場合が多い。また、ミクロ的視点では、国内で様々な諸問題を抱えており、先進国による支援が多く行われている。そのため、アフリカ全体のイメージとして貧困などの悪いイメージが生徒たちにも定着してしまっている。そこで、この学習を通し実際のアフリカの姿を見出し、理解を深めていく中で新たな事象に気づき、そこから見えてくる問題点について、考察し解決策を模索する姿勢を育成していきたい。

### (3) 指導について

4時間の時間配分の中で、まず初めにアフリカ州の現状を踏まえ、次に歴史的背景を捉えさせることで地域的な課題への意識づくりを行いたい。次に産業について学習していくうえで、気候と地形の様子や環境との関係性を理解し、そこから見えてくる問題点を考察しまとめる学習を行っていく。また、学習するにあたって予備知識の偏りを改善し、広い視野のもとで、経済的に発展し都市化が進む地域があること、近代的な都市が形成されていることに気づかせたい。先進国の支援のもと、各国でどのような取り組みが行われているか、貧困や搾取の状態からの脱却に向けてフェアトレードといった世界規模での取り組みも併せて追究させていきたい。

さらには、単元のまとまりを通してICTを活用して主体的に学習する環境を醸成する。ICTを有効的に活用し、社会的事象の理解と課題解決に向けた意欲を高め、生徒同士の話し合い学習を活発に行うことで、広い視野と考え、解決していく喜びを実感させたい。また、アフリカ州について、地図帳や諸資料の他、タブレットを利用して州全体を視覚的に捉えさせ、その特色をロイロノートにまとめるといった、思考力・判断力・表現力といった技能を身に付けさせる。

### (4) 本校研究との関わり

ア 単元の「主体的に考え、学びを深め合う生徒」の具体の姿

- ・諸地域の学習を通して、ICTを活用したさまざまな共有作業を行う。これまでの自分が持っていたイメージと異なる点や新たな発見・気づきを見付けることができることで、高い学習意欲で取り組むことができる姿。
- ・諸地域の抱える問題を、共有的な全体規模の課題と捉え、それらの課題解決に向けた考察を一人ひとりがタブレットを用いて自分の言葉でまとめることができる姿。

イ ICTを活用した指導の工夫について

- ・タブレットを用いインターネット内のサイトや資料、アプリ等を利用させる。例えば、グーグルマップを用い、普段は行くことのできない遠く離れた場所の様子について視覚的に確認することで、高い興味と関心、気付きを持てるようすることで、主体的な学習への意欲を高める。
- ・これまで、プリントに作業していたことをデジタル化することで効率が向上するほか、視覚的に内容を捉えることができる。即座に、変更点や改善点を反映させることができるため、グループ作業での内容がより洗練され、理解を深めることにつながる。

## 4 単元の評価規準

知識・技能	社会的な思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカ州について、植民地化の歴史や現状、他地域からの支援活動、州でみられる地球的課題を通して、地域的特色を大観し、理解している。</li> <li>・アフリカ州について、ICTの他に地図帳や諸資料も活用して州の地域的特色を具体的にとらえる。</li> <li>・習得した知識を整理してロイロノートにまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカ州の植民地化の歴史や豊かな資源と産業などの現状をもとに、アフリカ産業の地域的課題について、集めた資料と作成したロイロノートから読み取り、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカ州について設定された主題「他地域からの支援の必要性」の視点を通して、そこで見られるアフリカ産業の課題、モノカルチャー経済の抱える問題、資源の枯渇など地球的課題にも着目して考え、主体的に追究しようとしている。</li> </ul>

## 5 指導と評価の計画（4時間）

○アフリカ州を大観する中で、「かつての植民地支配は、アフリカ州にどのような影響を与えているか。」を主題として設定し、地域的特色を理解する。

【ねらい】 / ・学習活動/○●評価 ○:評定に用いる評価 ●:改善につなげる評価	評価の観点			★ICTの位置づけ
	知	思	態	
①アフリカをながめて（1）※本時				
【ねらい】アフリカ州を構成する主な国々の位置と名称を確認するとともに、歴史的背景と文化の関連を考え表現する。				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカ州の歴史的文化的な特色について資料をもとに考察し、その内容をロイロノートにまとめる。</li> <li>●ロイロノートでの作業を通して資料を読み取り、アフリカ州の歴史的背景と国旗・言語の関連を考察し、その内容をロイロノートにまとめている。</li> </ul>		●		<ul style="list-style-type: none"> <li>★電子黒板</li> <li>★フラッグヒストリー</li> <li>★ロイロノート</li> </ul>
②アフリカの農業から見える課題（1）				
【ねらい】アフリカ州の農業の特色を調べることを通して、アフリカ州が抱える課題について考え表現する。				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカ州の農業の特色や課題について、グラフや分布図から読み取り、気候や歴史的背景と関連付けながら考察し、その内容をロイロノートにまとめる。</li> <li>●アフリカ州の農業に関するグラフや分布図を適切に読み取っている。</li> <li>●アフリカ州の農業の特色や課題を、気候や歴史的背景と関連付けながら多面的・多角的に考察し、その内容をロイロノートにまとめている。</li> </ul>	●	●		<ul style="list-style-type: none"> <li>★電子黒板</li> <li>★ロイロノート</li> </ul>
③アフリカの資源から見える課題（1）				
【ねらい】アフリカ州には豊富な鉱産資源があることや、多くの国がモノカルチャー経済から抜け出す努力を続けていることを理解する。そのうえで、どのような援助が求められているのか考え表現する。				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカ州の鉱産資源に関するグラフや分布図から、その特色を読み取る。</li> <li>・アフリカ州が抱える経済的な課題の解決のためにどのような援助が必要なのかを考察し、その内容をロイロノートにまとめる。</li> <li>●アフリカ州の鉱産資源の分布とグラフや分布図から、その特徴を適切に読み取っている。</li> <li>●資料をもとにモノカルチャー経済の問題点を捉え、アフリカ州の産業の多様化と自立に着目して援助の在り方を考察し、その内容をロイロノートにまとめている。</li> </ul>	●	●		<ul style="list-style-type: none"> <li>★電子黒板</li> <li>★ロイロノート</li> </ul>
④単元のまとめ（1）				
【ねらい】アフリカ州についての学習をまとめ、学習成果を踏まえて、単元の問いへの答えを考え、全体の学習を振り返る。				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカ州のロイロノート内でのワークシート(白地図)に、これまで学習し調べた内容を書き込む中で、学習を振り返る。</li> <li>・単元課題に対する答えを、個々の作成したシートを活用しまとめ、発表する。</li> <li>○アフリカ州について、植民地化の歴史や現状、他地域からの支援活動、州でみられる地球的課題を通して、地域的特色を理解している。</li> <li>○アフリカ産業の地域的課題について、集めた資料と作成したロイロノートから読み取り、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> <li>○単元の学習を振り返り、さらに調べたいことなどを整理し、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>★電子黒板</li> <li>★ロイロノート</li> </ul>

6 本時の指導（1時間目/全4時間）

(1) 本時の目標

アフリカ州を構成する主な国々の位置と名称を確認するとともに、歴史的背景と文化の関連を考え、表現する。  
【思考力・表現力・判断力等】

(2) 展開

段階	生徒の活動	※教師の支援/★ICTの位置づけ/●評価
導入 5分	1 導入 ・アンケート結果をもとに単元の見通しを持つ。  ・資料画像をもとに、感じたことを発表する。	★アンケート結果の提示 ・アンケート理由の記述を提示 ①気候の様子 ②植民地 ③苦しい生活 など  ★資料画像を提示。 ※イメージしていたアフリカ＝貧困との違いに気づかせる。
	2 学習課題の設定	※課題の解決のための動機と見通しを持たせる。
アフリカ州はどのような歴史をたどって、どのような文化が形成されているか？		
展開 35分	3 学習の見通し ・地域（州）の歴史や文化を知るためにはどのようなことを調べればよいか考える。	(予想される答え：国旗、国境、公用語、植民地)
	4 検証 (1) アフリカ州の旧宗主国の分布図に国旗と言語（公用語）のカードを貼り付け、気付いたことをまとめる。	★ロイロノートの共有化を活用し4人グループで2つの作業を行う。 ★Xsync を用いて、生徒のロイロノートを一覧にして掲示する。 ★Xsync を活用し、作業の様子を確認しながら支援を行う。 ★フラッグヒストリーも活用させる。 ※生徒の取り組み支援を適宜行う。 (予想される答え：三色国旗が西側に集中している。同じ年代に独立している。独立が早い国もある。)
	(2) (1)において各自が考えたことを、グループ内で交流する。  (3) (2)において各グループで考えたことを、全体で交流する。	★ロイロノートの共有化を活用し作業内容をグループで確認する。  ★ロイロノートで作業したことを提出させる。 ★電子黒板を用いて、生徒の発表を全体で共有する。
終末 10分	5 まとめと振り返り ・本時の課題についての自分の考えをロイロノートにまとめる。	●ロイロノートでの作業を通して資料を読み取り、アフリカ州の歴史的背景と国旗・言語の関連を考察し、その内容をロイロノートにまとめている。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・アフリカ州は古くからヨーロッパにより植民地支配にされていたが、その後多くの国が独立を果たしている。しかし、その影響が言語（公用語）や国旗、国境線などにあらわれている。</p> </div>	

(3) 板書計画・モニター計画

・板書計画

学習課題：アフリカ州はどのような歴史をたどり、どのような文化が形成されているか？

●気付いたこと

国旗について

言葉(公用語)について

まとめ

・モニター計画①

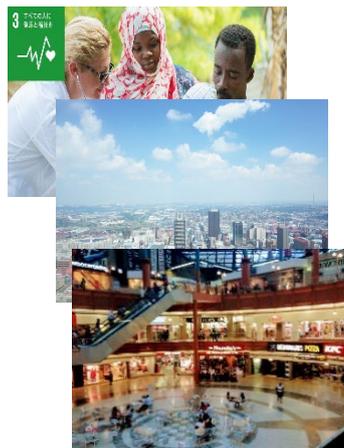
アンケート結果



アンケート記述内容

- ・大都市がない
- ・食料が安定していない。
- ・熱帯で暑そう、乾燥帯で、水のなさそう
- ・砂漠が多そう
- ・熱いので暮らすのが大変そう
- ・かつての植民地だから、今でも大変そう

アフリカの現状ア～ウ

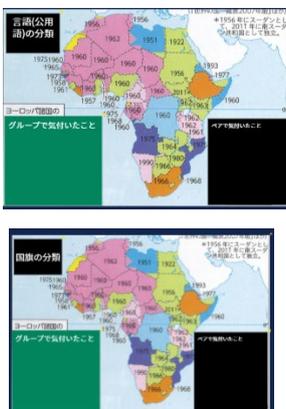


作業説明画面

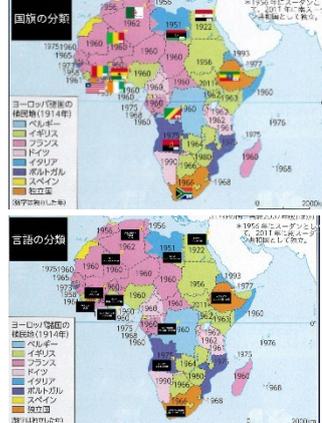


・モニター計画②

生徒の取り組みシート



作業後の完成時(確認用)



※ロイロなどの全体の画像イメージ

